

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

.サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。

(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人の関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。

関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名

グループホームはるか

(ユニット名)

記入者(管理者)

氏名

上満 佐智子

評価完了日

平成 19 年 6 月 14 日

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年8月6日

【評価実施概要】

事業所番号	3870700345		
法人名	社会福祉法人 三善会		
事業所名	グループホームはるか		
所在地	大洲市春賀甲1666-1 (電話) 0893-26-1165		
管理者	上満佐智子		
評価機関名	特定非営利活動法人 JMACS		
所在地	松山市三番町六丁目5-19 扶桑ビル2階		
訪問調査日	平成19年6月28日	評価確定日	平成19年8月6日

【情報提供票より】 (平成19年5月1日事業所記入)

(1) 組織概要			
開設年月日	平成16年5月21日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	8 人	常勤	8人, 非常勤 1人, 常勤換算 7.5人
(2) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)			
家賃(平均月額)	30,000 円	その他の経費(月額)	利用状況により異なる
敷 金	有(円) (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	220 円	昼食 400 円
	夕食	380 円	おやつ 円
または1日当たり 円			
(3) 利用者の概要 (平成19年5月1日現在)			
利用者人数	9 名	男性 4 名	女性 5 名
要介護1	3 名	要介護2	1 名
要介護3	3 名	要介護4	2 名
要介護5	0 名	要支援2	0 名
年齢	平均 83.3 歳	最低 77 歳	最高 90 歳
(4) 他に事業所として指定等を受けている事業及び加算			
指定 (あり)・なし	指定介護予防認知症対応型共同生活介護		
指定 あり・(なし)	指定認知症対応型通所介護		
届出 あり・(なし)	短期利用共同生活介護		
加算 あり・(なし)	医療連携体制加算		

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>管理者と職員は、日々話し合い「良い笑顔、良い心、良い言葉」を心がけ取り組まれている。</p> <p>日々の様子がよく分かるアルバムを職員が手作りされており、ご家族の来訪時に見ながらお話をされている。</p> <p>今年度より、誕生日にはその人の思いを叶える取り組みをすすめておられ、生家の訪問、家族のお見舞い、お墓参り等、利用者から希望が出ている。</p> <p>利用者一人ひとりの一日の流れが分かる一覧表があり、職員はその人のペースを把握しながら、暮らしを支援されている。ひとり一人の意思を大切に、決して無理強いはいしないことを職員で共有されている。</p>

【質向上への取組状況】

<p>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>・前回の評価を受け、共用空間内の時計の位置を利用者の見やすい高さに変えられたり、食後の口腔ケアへの実施に向けて取り組まれた。</p>
<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>・自己評価を職員全員で取り組まれた。</p>
<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>・会議では、パワーポイントを使用し、事業所の活動報告をされ、事業所の理解を得られるよう取り組まれた。又、地域の情報等をいただき、意見交換が行われた。</p>
<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>・ご家族の来訪時に意見等を出していただけるよう働きかけをされたり、家族会が年4回あり、ご家族同士が交流を深めたり、意見交換をされている。</p>
<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>・地方祭りでは、おみこしが来るようになっている。地域のカーブミラーの清掃等も協力をされている。調査訪問時、近所の方からいただいたお花が玄関に飾られていた。</p>

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価)		
			「自分らしく和やかに今を生きる」という理念を掲げている。地域密着型サービスとしての理念までにはいたっていないので、今後職員と話しあっていきたい。		地域の中で、その人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして職員で話しあって具体的な理念をつくりあげたい。
			(外部評価)		
			「自分らしく和やかに今を生きる」という理念のもと、ケアを行っておられる。		地域の中で、その人らしく暮らし続けることを支えていくためのサービスとして、事業所が目指すことについて、すべての職員で話し合っていくことを検討されていた。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価)		
			日々のケアで大切なことを常に意識してミーティングを行っている。「家庭的な環境と地域住民との交流の下で」基本方針が改まったこと説明した。		
			(外部評価)		
			管理者と職員は、日々話し合い「良い笑顔、良い心、良い言葉」を心がけ取り組まれている。		
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価)		
			家族会が発足し、ホームの理念等含めてお伝えしている、昨年より手作り新聞をつくり、家族、地域の方に配布している。其のつど事業所の様子をお伝えするように取り組んでいる。新年度にあたり地元の4部落総代さんの訪問があり、ホーム内を見て頂いた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 職員の通勤時の挨拶や散歩時に利用者と職員が積極的に挨拶をして自然なおつきあいが出来るよう心がけている。地域の高齢者の方より、時折玄関の花生けにお花を届けていただく。		
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 地域の行事（地方祭、盆おどり、文化祭、学校行事）等利用者と共に積極的に参加し交流を深めている、地域の一員として地域清掃に協力する、 (外部評価) 地方祭りでは、おみこしが来るようになっている。地域のカーブミラーの清掃等も協力をされている。調査訪問時、近所の方からいただいたお花が玄関に飾られていた。		
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 法人でヘルパー養成講座を開催しており、其中で地域の高齢者の暮らしのサポートできるようにヘルパー2級の資格を修得出来る様取り組み、人材育成に貢献する。		今後経験を積んで地域住民対象に認知症の理解や接し方の勉強会が開催出来る様にしていきたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) サービス評価の意義や目的をミーティングで伝え全職員が前向きに組み、日頃の点検見直すことを話しあつた。 (外部評価) 自己評価を職員全員で取り組まれた。前回の評価を受け、共用空間内の時計の位置を利用者の見やすい高さに変えられたり、食後の口腔ケアへの実施に向けて取り組まれた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価)		
			構成員よりG・Hの暮らしを地域の方に理解して頂くために手作り新聞の回覧のご意見があり、早速毎月公民館に届け、全地区に回覧するようになる。地域住民代表の構成員さんに定期的に訪問となり、話しあう機会となる。		
			(外部評価)		
			会議では、パワーポイントを使用し、事業所の活動報告をされ、事業所の理解を得られるよう取組まれた。又、地域の情報等をいただき、意見交換が行われた。		
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価)		
			地域密着型サービスとして市の職員も出席し担当者会を実施している、抱えていること等情報交換をしたり、お互いに自己研鑽や、サービスの質の向上につなげている。		
			(外部評価)		
			市主催のグループホーム担当者会に参加されている。今年度から介護相談員を受け入れておられた。		
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価)		
			現在利用者1名が成年後見人制度を利用している。毎月の訪問あり対応している。必要な方があれば関係者と話しあいながら活用できるように対応していきたい。		
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		
			ミーティング等で説明し高齢者虐待防止について資料を回覧し周知に努めた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約時に十分に利用者、家族と話しあって事業所の説明を行い同意を得ている。又、事業所でできること、できないことを明確に伝え家族のトラブルがないよう事前に説明している。		
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 介護相談員2名が2ヶ月に1度の訪問があり相談できる体制となっている。苦情等意見が出しやすい雰囲気、心がけている。法人全体で苦情委員会を開催し地域の外部の方にアドバイスや報告等を定期的に行っている。		
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 毎月、管理者より手書きにて近況の利用者の暮らしや、健康状態をお手紙にてお知らせしている。家族会総会や家族会交流行事の祭に報告する。又随時個々に合わせて連絡している。		
			(外部評価) 毎月、ご家族に向けてご本人の暮らしや健康状態について報告されている。日々の様子がよくわかるアルバムを職員が手作りされており、ご家族の来訪時に見ながらお話をされている。		
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 家族会があり、利用者や家族が意見をだしやすい雰囲気のところを心がけている。「家族の声」が大切であること職員と話しあっている。		
			(外部評価) ご家族の来訪時に意見等を出していただけるよう働きかけをされたり、家族会が年4回あり、ご家族同士が交流を深めたり、意見交換をされている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 月1回定期ミーティングを行い、意見や提案が訴えるような環境をつくり聞いている。又、個別に意見等も聞いたりしてスムーズに仕事ができる様に心がけている。常に、報・連・相をしている。		
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 利用者のニーズや生活時間にあわせた勤務体制に組んでいる。職員の急病等など急な休みのときは、遠慮なく交代できるようにお互いに話し合って調整している。		
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 定期的な異動はないが離職等で人員を配置している。その際入居者、家族に不安を与えないようスムーズに対応している。信頼関係を大切にしている。		
			(外部評価) 法人内の異動は最小限に抑えるよう努めておられる。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 法人トップより定期的な職員研修があり、法人の基本方針はもちろん、基本的なマナーや制度の状況等幅広くあり人材育成に努めている。研修会や勉強会にはできるだけ順番に参加して頂くようにしている。又、参加者は報告書にて皆さんに閲覧する。		
			(外部評価) 職員の段階に応じた研修が法人内で定期的に行われている。又、外部研修にも年に一度は必ず全職員が出席出来るように取り組まれている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 運営推進会議の構成員として管理者、担当職員がお互いに参加交流を行っている。市や協会の研修会や担当者会があり、情報交換をしお互いのサービスの質の向上に取り組んでいる。 (外部評価) 運営推進会議時に、地域の他事業所の方にも出席いただき、意見交換をされている。		
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) 職員の日頃の思い等を汲み取り働きやすい環境整備に努めお互いの職員同士の人間関係を大切にしている。又法人全体の交流もあり親睦を図る。		
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 毎日の事業日誌にて運営者に報告したり、又随時管理者より報告・連絡・相談をしている。職員の各自実績や状況等を報告することで、各自やりがいをもって働いている		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 本人、家族が安心して頂けるよう、意向を十分受けとめ話しあいを行う。職員が本人に受けとめて頂くような関係づくりを大切に、場合には、希望があれば、体験利用して安心していただくように気配りしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 家族の意向を受けとめ、ここでの生活状況で説明し信頼関係を作り、安心した生活が送れるようにしている。		
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) できる事、できない事を明確にした上で本人や家族の思いを受けとめ相談に応じている。		相談に来られた方に、地域包括支援センターや他の事業所のサービスにつなげる対応をしていきたい。
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) はじめは、本人又は家族等に見学に来ていただき、その後も体験入居を行うなど利用する方に安心して入っていただけるようにしている。入居後、落ち着かれない場合は家族等に面会に来ていただくなど協力をお願いし本人にとって安心できる場所になるようにしている。 (外部評価) ご家族の協力を得て、ご本人が馴染みやすいよう環境作りをされている。ご自宅に帰りたと言われる方には、ご家族と相談し、外泊されることもある。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 一人ひとりの得意な事、できる事を見つけ一緒に行っていたりするような環境を作っている。行っていた事に関しては感謝の言葉を忘れず伝える。その事で支えあう良い関係を築いている。 (外部評価) 職員は、利用者がこれまでご苦労されたこと等にも耳を傾け、いろいろなことを学んでおられる。「もったいない」という利用者の思いを大切にされており、トイレットペーパーの使い方等も教えてもらっていた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 情報交換を密にし家族と相談した上で実行する事により、同じ思いで支援が行なえるようにしている。家族や面会の際には情報提供だけでなく信頼関係を築き家族の思いを引き出し受けとめれるようにしている。		
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 本人にとって一番大切な存在であるのは家族であるという意識を常にもち、本人の気持ちを考えながら、面会、外泊等を家族に勧めるなど本人との良い関係が保てるよう支援している。面会時には家族でゆっくり関わられる空間を作り、会話が困難な場合には職員が会話の仲立ちをさせていただいている。		
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 行きつけの理・美容院に通われたり、家族の見舞いに定期的に行かれたり、家族の協力を得てお墓参りをされる等、その人その人にとって大事な人や場所と継続的に交流できるよう支援している。		
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 職員が利用者と関わる時間を多く作り、利用者一人ひとりの性格を理解された上で利用者の間に入り良い関係ができる働きをしている。その時々で変わる利用者の心理をすばやく察知し、職員が間に入る事で良い関係が保てるようにしている。		
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 現在は、亡くなって退所されるケースが多く、利用がなくなり付き合いはしていない。		今後、サービスを終了されるケースがあった場合も利用者・家族とも継続的な関わりができるような関係を作っていきたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1.一人ひとりの把握					
33	14	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 日々の生活の中で常に「利用者は何を望んでいるのか」を考え声かけ支援し、一人一人の理解に努めている。利用者の言動、表情から本人の意思を読み取りそれについてできる事はないか考え相談し、より良い生活に近づけられるようにしている。		単独外出を行いより個別なケアができるように支援していきたい。
			(外部評価) 日々の暮らしの中で、一人ひとりの思いを探り、個々の希望等の把握に努めておられる。意思表示の少ない方には、声かけ等を工夫されている。		今年度より、誕生日にはその人の思いを叶える取り組みをすすめておられ、生家の訪問、家族のお見舞い、お墓参り等、利用者から希望が出ている。
34		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 無理な引き出しはせず、利用者との何気ない会話から失礼のない限りで情報を集めている。又集めた情報は職員間で共有し、よい支援へと繋げるようにしている。		
35		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) 本人の生活リズムを乱さないようにきちんと把握している。一人一人得意、不得意があるため日常生活な面やレク活動などからその人が出来ることを見つけ出し、新たに発見を求め支援している。		
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) 日頃の関わりの中で思いをくみとり、利用者の視点にたった介護計画をたてるようにしている。職員同士、その場、その時に意見交換しカンファレンス後実行。そして情報交換を繰り返し介護計画に、反映している。		
			(外部評価) 職員は、「利用者一人ひとりの命を大切に、思いを大切に、その人の人生を大切に」にされており、ご本人、ご家族の意見を聴き、職員とも話し合って、介護計画を作成されている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
			定期的なモニタリング(3ヶ月以内に1回)の実施、期間に応じてサービス担当者会を開催し、ケアプラン作成・見直しを行っている。又、状態の変化に伴い、職員ミーティングでの検討をし、本人・家族の意向や意見も含めて新たな計画を作成している。		
			(外部評価)		
			家に帰りたと言われる方への対応や転倒等、状態に変化が生じた場合、ご本人、ご家族の意向も採り入れ、計画の見直しがなされている。		
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
			個別にファイルを用意し、状態観察記録・エピソード・医療関係の記録をしている。入居者状況一覧表で一日の入居者の方の生活スタイルが把握できる様になっている。		医療関係の記録だけをまとめたものを作成したいと思っている。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
			居室が9室しかない為、今のところショートステイやデイなどは行えない状況にある。空室がある場合は入居宿泊体験ができる様になっている。本人・家族の状況に応じて、受診・送迎等の必要な支援は柔軟に対応し、個々の満足度を高めるよう努力している。(介護タクシー利用)		
			(外部評価)		
			医療機関への受診の際、ご家族が同行できない場合には、法人内の介護タクシーを利用し、職員が同行されている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 運営推進会議は老人会会長・民生委員・市役所職員・家族会代表・他GH管理者様の協力のもと2ヶ月に1回開催している。又、消防署協力による避難訓練、地域ボランティア協力による行事もある。市より介護相談員の派遣もあり、いろんな機関と協力しながら支援している。		
41		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 法人内にデイサービス・在宅介護支援センター・地域包括センターがあり、必要な情報の共有がスムーズにできる環境である。		
42		地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 法人内にデイサービス・在宅介護支援センター・地域包括センターがあり、必要な情報の共有がスムーズにできる環境である。地域包括センターがあり、いつでも相談・協働できる。		
43	18	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 主治医(菊原Dr.) 往診が2週間に1回ある。又、状態変化に応じての受診や往診依頼をする等、適切な医療を受けられるよう主治医との連携を密に行っている。 (外部評価) 利用者は、希望により事業所のかかりつけ医に診てもらおうようになっている。		
44		認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 月1回(第2火曜日)平成病院へ出向き、専門医に状態報告・相談をした上で、薬の処方を受けている。又必要な場合の受診援助を行なう事で状態悪化が軽減できる様、早めの対応に心がけている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 主治医と連携を図りいつでも気軽に相談できるようになっている。現場にも正看護有資格者を配置できるようになった。今まで、GH内に看護師不在であった時は、他事業所の看護師にも協力していただいていた。		
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 利用者が入院された場合、退院計画に沿って医療機関やご家族と話し合うようになっている。又、入院時はケアプラン作成担当者をはじめ、介護職員が面会に行き、入院時の状態把握に努めている。		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 主治医・家族との連携を図り、いざという時に早期対応できるよう、早い段階から状態変化についての話し合いをしている。 (外部評価) 重度化した時のことや終末期のあり方について、ご本人やご家族と話し合う機会は少ない。		終末期のあり方についての話し合いについて今後検討が必要と思われる。 ご本人、ご家族の思いを大切に、事業所として重度化、終末期のことについてどのように取り組んでいくか、ということを話し合うことを検討されていた。
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 主治医との連携を図り、チームとしての支援に取り組んでいる。GHで対応できる事・できない事(医療行為)は職員ミーティングでも話し合いをもつ事で職員が周知している。		
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 当GHより他施設へ移り住まれる場合、日常生活の状態・ADLの状態など、必要事項を書類にする事とし、ご本人が住みよい生活環境となるよう情報提供に努める。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報取り扱いをしていない	(自己評価)		
			排泄の誘導、介助や確認、失禁の対応は不安や羞恥心、プライバシーに配慮して行っている。		
			(外部評価)		
			着替えの際にはカーテンを引き、入浴中は、身体にタオルをかける等、プライバシーに配慮されている。		
51		利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価)		
			利用者のリズムに合わせた声かけをし、意思表示が困難な方には、表情やジェスチャー、筆談などで細かな本人の意思を尊重している。		
52	21	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価)		
			個々の体調に配慮しながら、一日の流れを考え、本人の気持ちを尊重し個別性のある支援を行っている。		
			(外部評価)		
			利用者一人ひとりの一日の流れが分かる一覧表があり、職員はその人のペースを把握しながら、その人らしい暮らしを支援されている。ひとり一人の意思を大切に、決して無理強いはいしないことを職員で共有されている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 利用者に合わせ、理・美容室の利用の支援を行っている。出張美容サービスを利用し、ホーム内で手軽に行っている。常に清潔を心がけ、身だしなみ等細かな支援を行っている。		
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 職員も利用者と同じ食事を一緒に楽しく食べながら、混乱や食べこぼし等に対するサポートをさりげなく行っている。 (外部評価) 利用者の状態に応じて使いやすい食器が用意されていた。食べ方についても職員がさりげなく声をかけておられ、後片付け時も利用者に出来る事をしていただけるよう、声かけされていた。		
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 本人の体調も考え、食後の喫煙、夕食時の晩酌など楽しめるように支援している。好きなおやつなど一緒に買い物に行ったり、又依頼があった場合は買ってきて常備している。		
56		気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 個々の排泄パターンを把握し、自立に向けた支援を行っている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 入浴希望の方は毎日入浴している。 嫌いな方には無理な声かけはせず言葉かけや対応の工夫などによって一人ひとりに合わせた入浴支援をしている。		
			(外部評価) 自宅で入浴されていた時間に合わせ支援されたり、その日の状態に合わせて足浴等も支援されている。入浴を嫌がる人へは、声かけや対応を工夫されている。		
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) なるべく日中の活動(レクリエーション)を促し、一人ひとりの生活のリズムを作り安眠に繋げている。眠たそうで疲れているような時には居室に何気なく誘い休んでもらっている。夜間、寝付けなときには添い寝をしたり、温かい飲み物を飲んでもらったり、お話す等配慮している。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) 得意分野で一人ひとりの力を発揮してもらえよう、お願いできそうな仕事を頼み感謝の気持ちを伝えるようにしている。外出や地域の行事に参加など楽しみごとを利用者と行っている。		
			(外部評価) 庭の草引きをして下さる方がおられる。裏庭で昼食を楽しむ際には、利用者が準備や片づけをすすんで行ってくれる。		
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 自分の財布からお金を出したり、小額を手元に持たれていることで安心感や満足感に配慮している。 家族よりお金を預かり、事業所が管理している人でも外出や行事などお金を手渡すなどの工夫をしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) 天気、本人の希望に応じて季節を肌で感じてもらい身の活性化に繋がるよう日常的に散歩、買い物あるいはドライブ等に出かけている。 一人ひとりの習慣や楽しみごとに合わせて外食、散歩、お弁当を持って戸外に出かけている。 (外部評価) 毎日、散歩や近くのお地藏さんへのお参りをされる方もおられる。外食、お買い物等、ご本人の希望にそった支援が行われている。		
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) 本人が行きたいと思う遠くの場所への外出については、あらかじめ計画を立て、職員の勤務を調節する等しながら徐々に始めている。場合によっては、家族に協力を依頼することもある。		
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 家族や友人などに電話しやすい雰囲気づくりや職員からの声かけを行うとともに、会話が他の利用者聞こえないよう事務所で利用してもらっている。毎年、年賀状や暑中お見舞い、お礼状を出す為の支援を行い、利用者の希望に応じて日常生活に電話や手紙を出せるよう支援している。		
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) 家族も気軽に来やすい雰囲気づくりを心がけている。訪問時間などは定めておらず、家族の都合のいい時間にいつでも訪ねて来ていただけるように配慮をしている。他の利用者に気兼ねなく過ごしてもらえよう居室などにさりげなく移動してもらおうよう配慮して、居心地のよい空間作りを心がけている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 職員全員、身体拘束について理解しており身体拘束をしないケアを行っている。		ミーティングや日々の申し送りなどで、その日のケアを振り返り、自覚しない身体拘束が行われていないか等点検する。
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 玄関に感知式のセンサーは設置しているが、利用者の方が外出しそうな様子を察知したら止めるのではなく、さりげなく声をかけたり、一緒に付いて行く等、安全面に配慮しながら鍵をかけない自由な暮らしを支えるようにしている。		
			(外部評価) 鍵をかけず、利用者が自由に出入りできるよう支援されている。		
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 職員は利用者と同じ空間で記録などの事務作業を行いながら、さりげなく全員の状況を把握するよう努めている。夜間は1時間ごとに利用者の様子を確認すると共に起きられた際には、すぐに対応できるように努めている。		
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 全てを取り除くようなことはなく、利用者の状況の変化によっては注意を促していくなど、ケースに応じた対応をしている。		
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 日々のヒヤリハットを記録し、職員の共有の認識を図っている。万が一の事故が発生した場合には、速やかに事故報告書を作成し、事故原因の今後の予防対策について検討し、家族への説明を行うようにしている。一人ひとりの状態から事故を未然に防ぐ為の工夫に取り組んでいる。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 緊急事態のマニュアルがあり、すべての職員が把握できており対応することができる。また、母体施設を中心に全体でも、行政関係者、消防署の協力を得て救急手当や蘇生技術の研修を実施し、すべての職員が対応できるようにしている。		
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) マニュアルを作成し今年より年6回利用者と共に避難訓練を行っている。(職員より回数を増やして欲しいとの要望にて) また、消防署の協力を得て避難訓練、避難経路の確認、消火器の使い方などの訓練を定期的に行っている。近くの母体施設の協力も得ている。また、地域の協力体制については今後、運営推進会議などで協力を呼びかけていきたい。 (外部評価) いざという時に、1カ所に電話すると自動的に携帯につながるような仕組みになっている。近々、地震体験車が来るようになっており、近隣の人達へも案内されている。		法人への協力依頼の他、地域の人達にも災害時に協力をお願いすることを予定されていた。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	(自己評価) 本人の意思を尊重した様々な役割活動を提供している。本人が望む生活が出来る様、家族の方へ事業所の取り組みを丁寧に適時説明し、理解が得られるように努めている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 毎朝、全入居者の方にバイタルチェックを行い、その際に体調等も伺い状態の把握に努めている。また気になることがあれば、すぐに主治医に連絡を取り、指示をおおぐようにしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 服薬内容一覧表を作成し、いつ・何を飲まれているかが一目でわかるようにしている。又、目的や副作用等が記載されている別途用紙あり。症状の変化にも留意し、主治医との連携をとりながら本人に合った服薬・調節を行っている。		
75		便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 便秘予防の為、ふかし芋やバナナや牛乳等をおやつに多く取り入れている。栄養士による献立作成により、バランスのとれた食事を提供することができる。		身体を動かすレクリエーションをもっと多く取り入れていきたい。
76		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 食後の歯磨きの声かけは行っているが、朝・昼の口腔ケアは実施される方が決まっており、習慣づける事ができた方と困難な方がおられる。うがいも困難な方は水分補給をしていただく事で、口腔内に残碎物が残らないよう努めている。		うがいだけでもしていただけるよう支援していきたい。習慣化できていない方への意識づけがもっとできるよう毎食後の声かけを徹底していきたい。
77	28	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 栄養士による献立作成により、栄養のバランスのとれた食事が摂取できている。又、水分補給も個々の好みに合わせた物を提供することで、水分量が確保できる様努めている。 (外部評価) 栄養士が献立を立てておられ、食事、水分摂取量を記録し、把握されている。好みの飲み物等も採り入れ、水分摂取できるよう工夫されている。		
78		感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	(自己評価) 全員インフルエンザの予防接種を行っている。職員体調不良時は、速やかに勤務調節を行い、休みが取れるような体制を整えるようにしている。入居者の方が外泊された場合、体調の変化・生活で変わった様子等を家族から情報収集し、異変時の早期発見・対応がせき様に努めている。		GH独自のマニュアル作成ができる

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		<p>食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>(自己評価) 食材は、毎日新鮮な物を届けて頂く。日づけを記入することで残り物の鮮度も理解しやすく、冷凍、処分などすみやかな対応している。食器類は熱湯消毒し、ふきん、だいふきは漂白することで食中毒予防に努めている。</p>		
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
80		<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>(自己評価) 玄関前には、プランターに季節の花を生け、玄関には、近所の方が頂いた手作りかごに花を生け、明るい玄関にしている。</p>		
81	29	<p>居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価) 季節の花をテーブル、洗面台等に生け、目だけでなく香りからも季節を感じて頂けるような雰囲気をつくっている。馴染みの曲をかけ、自然と耳に入り込み口づさめるような工夫をしている。カレンダーや、行事を壁面にし利用者の楽しみを引き出している。</p> <p>(外部評価) 内庭には木が植えてあり、室内から緑が眺められる。</p>		<p>さらなる利用者個々の居心地よい空間作りに向けて、共用空間や居室の温度、湿度等について、利用者と話し合ってみてはどうだろうか。</p>
82		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価) 玄関や談話コーナー等、建物の一画一画に椅子を置き誰でも休める空間を作り、一人で過ごしたり、仲のいい者どうして過ごすことができるようにしている。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			本人が必要とする物は、何でも持って来ていただき、入居者の安心できる、居心地のよい生活スタイルに配慮している。		
			(外部評価)		
			居室でポトスを大切にお世話されている方がおられた。夜間、ご自分で安全にポータブルトイレを使用できるよう、ベットから移乗しやすいような工夫がなされていた。		
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			適時、換気を行っている。外気との温度差がある時は、温度計と入居者の様子をみながら調節している。トイレは換気扇と消臭剤で残飯や汚物は速やかに処理し悪臭が出ない工夫をしている。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			入居者の状態に合わせて、手すりや浴室、トイレ、廊下などの居住環境が適しているかを見直し安全確保と自立への配慮を行っている。		
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			本人にとって「何がわかりにくいのか」「どうしたら本人の力でやっていただけるか」を追求し、状況に合わせて環境設備に努めている。状態が変わり、新たに混乱や失敗が生じた場合にはその都度、職員一同で話し合い本人の不安材料を取り除き、力を取り戻せるよう試みている。		
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんで、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			裏庭には散歩や屋外食事ができるスペースがあり、洗濯物干しを置いたりなど十分に活用している。また、外周には畑・園芸も行われている。		

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ①ほぼ全ての利用者の 2 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	散歩・ショッピングの希望があれば対応している。
89	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ①毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	水分補給時、食後などに何気ない会話をしゆったりする時間をもつよう心がけている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	好きな時間にテレビを観たり、居室で休まれたり、畑に行かれたりと個人のペースで生活できるよう支援している。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者の得意なことを少しずつでもお願いし一緒にやってもらっている。外出(ショッピング・ドライブ等)で気分転換を図ることで、生き生きとした表情がみられている。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	散歩・ショッピングなどの希望に対応している。安全のため玄関に感知式のセンサーを取り付けているが、鍵は開いており自由に外へ行ける環境づくりをしている。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	毎朝、バイタル測定を行い健康管理をしている。少しでも体調の変化が見受けられれば、主治医に連絡し指示をあおぐようにしている。2w1回、主治医の往診がある。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	個人の状態を把握して一人ひとりに合った支援を行い、安心して生活ができるよう努めている。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (自己評価) ①ほぼ全ての家族と 2 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	家族の面会時には最近の状態(日常生活の様子など)を報告するようにしている。また、面会時には家族とコミュニケーションをとる時間をもつよう心がけている。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ①ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 ③たまに 4 ほとんどない	グループホームの日常生活の様子を地域の方に理解してもらえよう新聞を発行し地域の家庭にも配布している。また来ていただきやすい雰囲気づくりも同時に行っている。そのためか地域の方が訪ねてくださる機会も増えている。

愛媛県 グループホームはるか

項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	①大いに増えている (自己 2 少しずつ増えている 評価) 3 あまり増えていない 4 全くいない	地域の方からも「知る機会ができてよかった」等の言葉を頂いている。 他のグループホームの新聞やレクリエーションを知ることができた。
98	①ほぼ全ての職員が (自己 2 職員の2/3くらいが 評価) 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	一人ひとりの職員が仕事のやりがいを感じ生き活きと働くことができている。
99	①ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	日々の生活の中で笑顔が多く見られている。
100	①ほぼ全ての家族等が (自己 2 家族等の2/3くらいが 評価) 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	家族会などを通じてサービスに関して理解していただいていると思う。家族からサービスについて疑問等あった場合には随時対応している。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

月1回、日常の様子などの写真とコメントを掲載した新聞を地域・各事業所に発行している。